

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	肯定的回答	否定的回答	評価	成果と課題	対応・取組	
学校教育目標／生徒会スローガン	誰もの“幸せ”を考えようとする生徒の育成 誇れる大田二中 笑顔・あいさつ・ありがとう	生徒 学校教育目標を知っていますか。	40%	41%	16%	3%	A	・学校教育目標について、毎月の学校だよりや行事予定、ホームページ等で広報を行った。保護者や地域に対する質問文が抽象過ぎて答えにくい内容となった。 ・ほとんどの項目において、肯定的な回答が多かった。特にあいさつについては、二中のよいところとして継承されており、今後もそうあってほしい。 ・生徒自身と地域の評価は高い傾向にある。 ・ここでも、保護者や地域に対する質問は、答えにくいものとなってしまった。	・引き続き、学校だよりやホームページ等において、学校教育目標やめざす○○像、生徒会スローガン等を掲載するとともに、保護者に意識していただけるよう広報の工夫をする。 ・校内外に対する掲示、他のたよりやメール等への掲載等さらに工夫をする。 ・保護者や地域の方は、二中生と常に接しているわけではないため、答えにくい質問もあったと思うが、そういう視点で子どもたちを見守っていただきたいという願いもある。次年度は、年度の早い段階で評価項目を開示するなどの工夫をする。
		保護者 二中の学校教育目標を知っている（見たり聞いたりしたことがある）。	15%	51%	26%	8%	B		
		地域 二中の学校教育目標を知っている（見たり聞いたりしたことがある）。	64%	36%	0%	0%	A		
		職員 学校教育目標を意識しながら指導・支援をしている。	35%	58%	8%	0%	A		
		生徒 学校教育目標を意識して生活することがありましたか。	20%	44%	30%	6%	B		
		保護者 中学生は、誰もの幸せを考えようとしていると思う。	9%	66%	21%	4%	B		
		地域 中学生は、誰もの幸せを考えようとしていると思う。	18%	73%	9%	0%	A		
		職員 中学生は、誰もの幸せを考えようとしていたと思う。	8%	69%	23%	0%	B		
		生徒 笑顔で人と接している。	58%	38%	4%	0%	A		
		保護者 中学生は、笑顔で人と接している。	15%	66%	18%	1%	A		
		地域 中学生は、笑顔で人と接している。	55%	36%	9%	0%	A		
		職員 生徒は、笑顔で人と接している。	19%	81%	0%	0%	A		
		生徒 時と場に応じた気持ちのよいあいさつを心がけている。	59%	39%	2%	1%	A		
		保護者 中学生は、時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしている。	20%	68%	10%	3%	A		
		地域 中学生は、時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしている。	55%	36%	9%	0%	A		
		職員 生徒は、時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしている。	15%	54%	31%	0%	B		
		生徒 「ありがとう」などの感謝の気持ちを言葉にしたり、態度で表したりしている。	67%	32%	1%	1%	A		
		保護者 中学生は、「ありがとうございます」などの感謝の意を伝えることができる。	24%	65%	10%	1%	A		
地域 中学生は、「ありがとうございます」などの感謝の意を伝えることができる。	30%	60%	10%	0%	A				
職員 生徒は、「ありがとうございます」などの感謝の意を伝えることができる。	19%	69%	12%	0%	A				

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんが回答している。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目がある。

※バス通学生へのアンケートに、バス利用者以外の生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とする。

※個人名を出しての自由記述があったため、内容を編集した回答がある。

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	肯定的回答	否定的回答	評価	成果と課題	対応・取組	
めざす生徒像	自分を見つめ大切にしている生徒	生徒 自分の長所や短所を理解している。	31%	52%	15%	A	・家庭における生活習慣(特に睡眠)については、委員会の活動と連携して取り組んだことにより、生徒も保護者も意識が高まったように思われる。 ・アドジャントークを取り入れたことで、生徒同士の関わりを大切にしようとする意識が高まったように思われる。 ・質問項目の「友だち」という言葉の定義が曖昧であり、子どもたちの受け取りと学校側の意図とが乖離していたのではないか。	・アドジャントークに引き続き取り組み、めざす生徒像の実現をめざす基盤としていくと同時に、全校集会、生徒集会、日常活動等を通して、異学年間の活動や話し合いの機会を設定する。 ・行動目標的なクラスの権宣言を、1学期の早い段階で作成し、それを振り返るルーティーンを計画・実行する。 ・生徒の自己肯定感を高める教員の言動や関りを見直すための研修を行う。 ・わかりやすい評価項目文章にする。 ・Let's Tryヘルスライフのさらなる活用をしながら、家庭における生活時間の工夫・改善を促す。 ・授業と家庭学習とのつながりを大切にする授業改善を試みる。	
		保護者 自分の子どもは、自分の長所や短所を理解していると思う。	15%	66%	18%	A			
		地域 生徒は、自分の長所や短所を理解していると思う。	4%	54%	42%	B			
		生徒 自分のことが好きである。	20%	38%	33%	9%			B
		保護者 自分の子どもは、自分の長所や短所を理解していると思う。	15%	66%	18%	A			
		地域 生徒の自己肯定感が高いと思うと思う。	12%	42%	42%	4%			B
		職員 睡眠やメディア接触時間を含め、健康のことを考えながら、家庭での過ごし方を工夫している。	24%	51%	21%	4%			B
	生徒 睡眠やメディア接触時間を含め、健康のことを考えながら、家庭での生活をしてしていると思う。	46%	38%	11%	B				
	保護者 生徒は、睡眠やメディア接触時間を含め、健康のことを考えながら、家庭での生活時間を工夫していると思う。	5%	38%	58%	0%	C			
	地域 友だちの気持ちを考えて、話したり遊んだりしている。	4%	53%	46%	1%	A			
	職員 友だちの気持ちを考えて、話したり遊んだりしている。	21%	71%	7%	A				
	生徒 中学生は、友だちの気持ちを考えて、話したり遊んだりしていると思う。	9%	82%	9%	A				
	保護者 生徒は、他の生徒の気持ちを考えて、話したり遊んだりしていると思う。	0%	50%	50%	0%	B			
	地域 授業中、友だちの意見や考えを参考にしながら学習している。	49%	47%	4%	A				
職員 自分の子どもは、授業中、友だちの考えを参考にしながら学習していると思う(授業参観等を通して)。	9%	68%	20%	4%	B				
生徒 中学生は、授業中、友だちの考えを参考にしながら学習していると思う(授業参観等を通して)。	9%	64%	27%	0%	B				
保護者 生徒は、授業中、他の生徒の考えを参考にしながら学習していると思う。	12%	77%	12%	A					
地域 疑問をもったことは、自分で調べようとしている。	32%	44%	21%	3%	B				
職員 自分の子どもは、授業中、友だちの考えを参考にしながら学習していると思う(授業参観等を通して)。	9%	68%	20%	4%	B				
生徒 中学生は、授業中、友だちの考えを参考にしながら学習していると思う(授業参観等を通して)。	9%	64%	27%	0%	B				
保護者 疑問をもったことは、自分で調べようとする生徒が多いと思う。	0%	27%	69%	4%	C				

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんが回答している。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目がある。

※バス通学生へのアンケートに、バス利用者以外の生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とする。

※個人名を出しての自由記述があったため、内容を編集した回答がある。

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合			評価	成果と課題	対応・取組
			肯定的回答	否定的回答	不明			
めざす保護者像	子どもを見守り環境を整える保護者	生徒	[Bar chart showing 100% positive response]			A	・中学生になると生活時間帯もずれてきて、親の方が早く寝てしまうこともある。また思春期でもあり、子どもの生活をすべて把握はできない。 ・保護者間の関わりについては、小学校ほど集まりはなく、校区も広いいため、保護者同士の顔が十分わからないこともB評価の要因ではないか。部活動によっては、つながりが強いところもある。	・家庭生活における支援(睡眠時間の確保を含む規則的な生活時間の指導・支援等)は大切であると思うので、学校から情報提供があったり、こういう機会に振り返ったりすることについてはありがたい。
		保護者	18%	73%	10%			
		地域	[Bar chart showing 100% positive response]					
	人との関わりを大切に学び続ける保護者	生徒	[Bar chart showing 100% positive response]			A		
		保護者	20%	64%	15%			
		地域	[Bar chart showing 100% positive response]					
	保護者等、大人同士の関わりを大切にしている。	生徒	[Bar chart showing 100% positive response]			B		
		保護者	9%	62%	28%			
		地域	[Bar chart showing 100% positive response]					
	PTA活動等に参加するなど、自分なりに子育てに関する情報を得ている。	生徒	[Bar chart showing 100% positive response]			B		
		保護者	6%	48%	43%			
		地域	[Bar chart showing 100% positive response]					

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合			評価	成果と課題	対応・取組
			肯定的回答	否定的回答	不明			
めざす地域・社会像	子どもを見守り環境を整える地域・社会	生徒	[Bar chart showing 100% positive response]			A	・交通安全旬間の際は、朝の声かけをしている。下校時に中学生に声かけをすることはなかなか難しい。	・学校行事の案内等については、運営協議会メンバーにもマメール登録をしていただき、効率的な情報提供をめざす。
		保護者	45%	36%	18%			

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんが回答している。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目がある。

※バス通学生へのアンケートに、バス利用者以外の生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とする。

※個人名を出しての自由記述があったため、内容を編集した回答がある。

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	評価	成果と課題	対応・取組
めざす職員像	子どもを見守り環境を整える職員	生徒	先生は、あなたの思いや考えを大切にしてくれている。 41% 肯定的回答 48% 肯定的回答 9% 否定的回答	A	・すべての項目で4者とも肯定的回答がA評価であった。 ・上限としている時間外勤務の時数を超過している職員が出てくる。 ・常に誠実な対応を心がけているが、組織的な情報交換が出来ないケースもあり、十分でなかったことがあった。	・職員の負担感軽減、余暇の時間の確保、ワークライフバランスを考える余裕等があるところ、誠実かつ組織的な対応が出来ると考え、職員の働き方について具体案を考え、新年度当初から実行していく(月曜日の生活時程、部活動の活動時間、職員朝礼や各種会議、行事の持ち方、ICT活用の研修等)。
		保護者	教員は、子どもの主体性を尊重する姿勢で支援していると思う。 20% 肯定的回答 63% 肯定的回答 13% 否定的回答 5% 否定的回答	A		
		地域	教員は、生徒の主体性を尊重する姿勢で支援をしていると思う。 18% 肯定的回答 82% 肯定的回答	A		
		職員	生徒の主体性を尊重する姿勢で支援をしている。 15% 肯定的回答 81% 肯定的回答 4% 否定的回答	A		
		生徒	先生には、自分で考える機会、生活や学習の環境を整えてもらっている。 43% 肯定的回答 51% 肯定的回答 5% 否定的回答	A		
		保護者	教員は、生徒が自分で考える機会を設定したり、学習や生活がしやすい環境を整えたりしていると思う。 19% 肯定的回答 63% 肯定的回答 16% 否定的回答	A		
		地域	教員は、生徒が自分で考える機会を設定したり、学習や生活がしやすい環境を整えたりしていると思う。 18% 肯定的回答 82% 肯定的回答	A		
		職員	生徒が主体的に考えたり、学習や生活しやすい環境を整えたりしている。 31% 肯定的回答 54% 肯定的回答 15% 否定的回答	A		
	人との関わりを大切にし学び続ける職員	生徒	先生は、先生同士や保護者・地域の方と連携・協力しようとしている。 35% 肯定的回答 54% 肯定的回答 11% 否定的回答	A		
		保護者	教員は、保護者と連携・協力しようとしていると思う。 24% 肯定的回答 57% 肯定的回答 15% 否定的回答 4% 否定的回答	A		
		地域	教員は、保護者や地域の方と連携・協力しようとしていると思う。 18% 肯定的回答 64% 肯定的回答 18% 否定的回答	A		
		職員	他の職員、保護者や地域の方と連携・協力している。 35% 肯定的回答 58% 肯定的回答 8% 否定的回答	A		
		生徒	先生は、よりよい授業をしようとしている。 42% 肯定的回答 51% 肯定的回答 5% 否定的回答	A		
		保護者	教員は、よりよい授業をしようとしていると思う(授業参観等を通して)。 15% 肯定的回答 65% 肯定的回答 14% 否定的回答 6% 否定的回答	A		
地域	教員は、よりよい授業をしようとしていると思う(授業参観等を通して)。 55% 肯定的回答 45% 肯定的回答	A				
職員	授業改善等の意識を常にもち、授業準備をしている。 19% 肯定的回答 73% 肯定的回答 8% 否定的回答	A				

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんが回答している。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目がある。

※バス通学生へのアンケートに、バス利用者以外の生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とする。

※個人名を出しての自由記述があったため、内容を編集した回答がある。

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合		評価	成果と課題	対応・取組	
			肯定的回答	否定的回答				
人権教育、より良い環境への取組等に関すること	睡眠に関する	生徒	54%	42%	3%	A	・睡眠については、生徒会の委員会活動と連携したことにより、子どもたち自身が考え始めた。 ・アドジャントークを取り入れたことは、授業においても、人間関係形成の面でもプラスとなった。	
		保護者	33%	56%	10%	A		
		地域	55%	36%	9%	A		
		職員	62%	38%	0%	A		
		生徒	47%	41%	10%	A		
	コミュニケーション能力と集団づくり	保護者	円滑な人間関係を築くため、また、自己及び他者理解の推進をめざして「アドジャン・トーク」というスキルトレーニングを行っているが、このような取組は有益だと思う。	20%	68%	9%	4%	A
		地域	円滑な人間関係を築くため、また、自己及び他者理解の推進をめざして「アドジャン・トーク」というスキルトレーニングを行っているが、このような取組は有益だと思う。	30%	60%	10%	0%	A
		職員	「アドジャン」の時間は、中学生にとって、有益で必要な時間である。	81%	19%	0%	0%	A
		生徒	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直すことはよいことだと思う。	54%	37%	8%	1%	A
		保護者	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直すことはよいことだと思う。	43%	49%	5%	2%	A
		地域	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直すこととしてよいことだと思う。	100%	0%	0%	0%	A
		職員	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直すことはよいことだと思う。	58%	38%	4%	0%	A
教育課程、教育活動・教育環境の見直し	生徒	給食時間を5分延長したことは、将来的あるいは結果的にはよいことだと思う。	34%	31%	22%	13%	B	
	保護者	2学期から給食時間を5分延長したことは、将来的あるいは結果的にはよいことだと思う。	38%	51%	9%	2%	A	
	地域	2学期から給食時間を5分延長したことは、将来的あるいは結果的にはよいことだと思う。	80%	20%	0%	0%	A	
	職員	2学期から給食時間を5分延長したことは、将来的あるいは結果的にはよいことだと思う。	23%	35%	31%	12%	B	
	生徒	定期(中間・期末)テストの2日目の部活動を停止したことはよいことだと思う。	57%	28%	8%	8%	A	
	保護者	定期(中間・期末)テストの2日目の部活動を停止したことはよいことだと思う。	38%	42%	14%	6%	A	
	地域							
	職員	定期(中間・期末)テストの2日目の部活動を停止したことはよいことだと思う。	73%	19%	8%	0%	A	
	生徒	【静間・五十猛方面バス利用者のみの回答】 静間・五十猛方面の帰りの降り口バス停を変更したことはよいことだと思う。	42%	32%	13%	13%	B	
	保護者	【静間・五十猛方面バス利用者のみの回答】 静間・五十猛方面の帰りの降り口バス停を変更したことはよいことだと思う。	44%	49%	7%	0%	A	
	職員	静間・五十猛方面の帰りの降り口バス停を変更したことはよいことだと思う。	58%	42%	0%	0%	A	

※自由記述にもたくさんのご意見を頂戴し、確認をしています。すべてに回答はできませんが、真摯に対応していきます。

※部活動については、教員がやるから成り立っているというご意見もありましたが、過度の負担にならないように願うという委員のご意見もいただきました。

※自由記述については、保護者には配付、地域には回覧をします。

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんが回答している。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目がある。

※バス通学生へのアンケートに、バス利用者以外の生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とする。

※個人名を出しての自由記述があったため、内容を編集した回答がある。